

「新生児DIC診断・治療指針2016年版」のご案内

「新生児DIC診断・治療指針2016年版」（以下、指針）が発表され、日本産婦人科・新生児血液学会（以下、本学会）の学会誌 第25巻 第2号 3-34頁（2016年）に掲載されました。本指針は、本学会の「新生児DIC診断・治療指針作成ワーキンググループ」（代表：白幡 聡 元理事長）がEBMに基づき作成いたしました。つきましては、本指針を奮ってダウンロードされ、お読みいただき、先生がたの診療にお役立ていただきますようお願い申し上げます。

■ Abstract 「策定の経緯」（白幡 聡）

いまだ欧米諸国で策定された新生児 DIC（disseminated intravascular coagulation: 播種性血管内凝固症候群）のガイドラインはない。一方、わが国では、1983年に基礎疾患、出血傾向、検査所見を組み合わせた新生児 DIC 診断基準が白幡らにより発表された（Disseminated Intravascular Coagulation; Abe T and Yamanaka M eds, Univ of Tokyo Press, 1983）。この診断基準では、検査項目として、血小板数・フィブリノゲン・フィブリノゲン/フィブリン分解産物（当初は血清 FDP, のちに D ダイマー）が採用され、スコア化されたが、河井らは、新生児 DIC の診断に D ダイマーの有用性が低いと考え、代わりにプロトロンビン時間を採用した診断基準を提唱した（日本周産期・新生児医学会誌、43:10,2007）。これら二つの診断基準は一長一短があるので、両者の欠点を補正した新たな診断指針を作成するとともに、これまで国内外で提唱されたことのない新生児 DIC の治療指針を作成した。

■ 学会員のみなさま （*本学会から寄与いたしましたIDとパスワードをご利用ください。）

本学会ホームページにアクセスし、「学会誌」のページ内の「学会誌バックナンバー（メディカルオンライン）」の「【学会員限定】」をクリックしていただき、2016年 Vol 2.No 2. (25-2) から「新生児DIC診断・治療指針2016年版」を検索し、「全文ダウンロード」してご覧ください。

★ 本学会ホームページ「学会誌」 <http://www.jsognh.jp/journal/>

■ 学会員以外のみなさま （*入会をご希望の場合には「入会案内」をご覧ください。）

メディカルオンラインから、「新生児DIC診断・治療指針2016年版」を検索し、「全文ダウンロード」してご覧ください。（有料）

★ 「メディカルオンライン」ホームページ <http://www.medicalonline.jp>

■ 転載等を希望される場合

本学会事務局にお諮り下さい。★ 問い合わせ先：[日本産婦人科・新生児血液学会事務局](#)